
狼と八朔娘

ジャンク鹿町

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狼と八朔娘

【Nコード】

N2150Y

【作者名】

ジャンク鹿町

【あらすじ】

初投稿です。ちょっと怖い日本むかし話みたいになりました（苦笑）

むかしむかしのある日。

腹を空かせた狼が、道端の木陰で旅人を待ち構えていました。

狼は早く人間が食べたくてたまりません。

すると、笠で顔を隠した、綺麗な着物の娘が足早に通りにかかりました。

狼は「しめた！」と、早速娘の前に飛び出し、通せんぼをしました。

「空腹のおれに会うとは、お前もついてないな。どんな顔で怯えているか、見せてもらおうぞ」

狼は乱暴に娘の笠を投げ捨てると、目を丸くしました。

「な、なんだこの娘は？頭が大きな八朔ではないか！」

狼の言うとおり、この娘は、体こそ綺麗な着物を着た人間そのものですが、奇妙なことに、頭は丸ごと大きな大きな八朔でした。目も口もない八朔は、可愛い声で言いました。

「狼さん狼さん。私は急いでご主人様のところへ帰らなくてはなりません。そこを通していただけませんか？」

しかし狼は首を横に振りました。

「やい。おれは人間が食べたいんだ。お前は人間なのか、八朔なのかどっちなんだ？いや、もう空腹でたまらない。どちらでも構わん。お前を食べてやる！」

「まあ！それは困りますよう！ちゃんと、綺麗にしたまま戻らないと、ご主人様に怒られてしまいますよう！」

八朔が泣き声を上げましたが、狼は強引に八朔の皮をベロリと、むしり取りました。

すると、皮の下から、とても美しい、人間の娘の頭が入っていたのです。

「やや！この八朔は、かなり上等ではないか！もう我慢ができません！」

狼は、大きな八朔の皮を投げ捨てると、娘をむしゃむしゃと、あっという間に食べてしまいました。

久しぶりのご馳走で腹を満たした狼は、ごろんと横になり、ぐうぐうといびきをかいて、眠ってしまいました。

すると、道端に捨てられたら八朔の皮が、ふわりと浮き上がりしました。

そして、先ほどの可愛らしい娘の声ではなく、老婆のような声で言いました。

「全く、なんと強欲な狼だ！一体これからどうしましょう。このままでは、私のご主人様に怒られてしまう……」

皮はふわふわと、寝転がっている狼の頭上へ動きました。

「ああ。そうだね。いっそのこと、この狼を連れて帰りましょう」

八朔の皮は、体を大きく広げると、狼の頭を包み込んでしまいました。

今度は、狼の頭が八朔になってしまったのです。

「これでよし。さあ、欲張りな狼さん。さっさと起きて歩いてちょうだい」

狼の体はむくりと起き上がり、先ほどまで娘だった八朔が向かってきた方角の道を、歩き始めました。

しばらくして、薄暗い山奥の、真つ暗な洞穴に着きました。

すると、洞穴の中から、大きな赤鬼が現れたのです。

赤鬼は地面が震えるほど、恐ろしい声で言いました。

「おい、八朔。遅かったではないか。娘はどこなんだ？」

狼の体を付けた八朔は、悲しそうにうつむきました。

「ご主人様、申し訳ございません。せつかく私が綺麗な綺麗な娘子を用意しましたのに、この汚い狼が娘を、骨までみーんなさっぱり食べてしまったのです……」

それを聞いた赤鬼は、さらに顔を真つ赤にして怒りました。

「楽しみにしていたのになんてやつだ！もうよい！上等な娘を食ったばかりなら、お前の肉も少しばかりは美味いだらう！」

そう言うと赤鬼は、腰に提げていた大きな鎌で、大きな八朔を狼の頭から、ちゃん、と刈り取り、皮を剥いて中の狼の頭をパクリと食べてしまいました。

そして、また身が無くなった八朔の皮は、ふわりふわりと風に乗り、何処かへと飛んでいきました。

おしまい。

お題【狼】 【鎌】 【八朔】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2150y/>

狼と八朔娘

2011年11月4日19時03分発行